



▲道の駅阿賀の里の船着き場にて

第9回

特集
2

阿賀の宝もん ★発掘レポート

阿賀野川の歴史や文化、人や暮らし、自然環境…
などを流域の未来に生かす取組を掲載。

新潟イザベラ・ バード研究会



▲バードと通訳伊藤のお面
を手にする伊藤頼子さん

新潟イザベラ・バード研究会 代表 伊藤 頼子さん

新潟市江南区生まれ、会社員。みるみる沢海まちあるき
ガイド代表や新潟シティガイドを務める傍ら、2019年に新
潟イザベラ・バード研究会を立ち上げ、代表として活動。

まちあるきガイドとして活躍し始めた伊藤
さんが、イザベラ・バードに深く関わるきっかけ
となったのは、バード来日140周年(平成29

バード来日140周年を前に

今から15年ほど前、ちょうどNHKの人気
番組「プラタモリ」が始まる頃、伊藤頼子さん
は新潟のまちあるきに関心をもち始め、実際
のイベントに何度か参加していました。その当
時から「もし自分がガイドだったら、こう案内
しよう…」という思いが、すでに芽生え始めて
いたそうです。
地域の歴史や地理に根ざしたまちあるきへ
の関心をさらに深めた伊藤さんは、「いいた
市民大学」で「新潟学」を受講した後、ガイド養
成講座を経て、平成26(2014)年に「新潟シ
ティガイド」としてデビューします。また、同じ
頃、地元・新潟市江南区の沢海地区でまちある
きガイドの団体が立ち上がり、その代表にも
就任しました。

イザベラ・バードについて

イザベラ・バードは、イギリス生まれの旅
行家・紀行作家で、ハワイ諸島やロッ
キー山脈を探検後、明治11(1878)年
に日本への大旅行を決行し、「日本奥
地紀行」を著した。

5月20日に来日したバードは、北日
本の踏査及び関西旅行をへて、12月
まで日本に滞在しました。なお、北日本
の踏査には、通訳兼従者の伊藤鶴
吉氏が同行しています。

また、新潟県内では、阿賀町津川
から阿賀野川を船で下り、小阿賀野
川・信濃川を通過して新潟町に滞在し
た後、本崎・黒川をへて、十三峠から
県外へ移動しました。

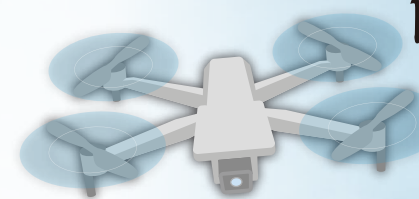


バードの通訳兼従者「伊藤」こと
伊藤 鶴吉氏
「近世名士写真集 其1」(近
世名士写真頒布会)掲載

※当該ルートは「イザベラ・
バード紀行「日本奥地紀行」
の謎を読む」(著者:伊藤孝
博/無明舎出版)に掲載さ
れたバードの北日本踏査の
全旅程図を参照して作成。



▲バードの北日本踏査のルート
船移動



ドローンの視点で

阿賀野川を上流から下流ま
で下る動画を見ながら、阿賀
野川の自然・現在を語り合う



鳥の目線で大河を下って
小型のドローンを地表100
メートルほどの高さまで飛ば
し、阿賀野川を上流から下流
まで下る鳥の目線となって撮
影した動画を眺めながら、阿
賀野川の自然や地理、現在の取
組について語り合いました。
当日の視聴者の中には、阿賀
野川を上空から眺めた動画に
驚かれた方も多く、ゲストの
方々から多様な解説もなされ
たことで、阿賀野川への多角的
な理解が促されました。



▲蛇行して流れる阿賀野川の中流



▲阿賀野川上流の屈曲部



▲川幅が広がった阿賀野川の下流



▲上流にある旧鹿瀬工場

当日の様子を **YouTube** でご覧になれます!



次のURLもしくはQRコー
ドからご覧いただけます。

URL: https://youtu.be/M_InkcKYPyY



▲ゲストによる様々なプレゼン(解説)が行われました!

阿賀野川オンラインツアー2日目・11月28日配信

阿賀野川 オンラインツアー ドローン川下り



ゲスト

※上掲写真
左から…

水の駅「ビュー福島潟」事務局長

佐藤 安男氏

阿賀まちづくり株式会社 代表

堀口 一彦氏

阿賀町農林課長

江花 一実氏

【自然・現在編】

11/28(日)

15:00~17:30